授業科目名・形態	看護学概論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	小玉　光子	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	N4-1001npmht				

【授業の主題】
看護学概論は看護学を学ぶための第一歩であり、今後の専門領域を学ぶための基礎となる科目である。看護とは何かという看護の概念を学問的に捉え、看護学分野の根底にある共通内容を学習する。

【到達目標】
1. 看護の概念や歴史、理論を学び、看護学に対する理解を深めること。
2. 看護とは何かを考えること。
3. 医療・看護を取り巻く環境が変化するなかでも、変わらないもの・変わってはならないものを見極めること。
4. 専門職としての看護の役割や機能、倫理などについて理解すること。

【授業計画・内容】
第 1 回　　看護とは何か　(小玉)
第 2 回　　看護の過去から現在まで　(小玉)
第 3 回　　フロレンス・ナイチンゲール「看護覚書」①　(小玉)
第 4 回　　フロレンス・ナイチンゲール「看護覚書」②　(小玉)
第 5 回　　主要な看護モデルと看護理論　①演習　(小玉)
第 6 回　　主要な看護モデルと看護理論　②演習　(小玉)
第 7 回　　主要な看護モデルと看護理論　③発表　(小玉)
第 8 回　　看護実践における重要な概念　(小玉)
第 9 回　　看護の役割と機能　(小玉)
第 10 回　　看護実践の方法　(小玉)
第 11 回　　看護における倫理と法　(小玉)
第 12 回　　看護実践を支えるもの　(小玉)
第 13 回　　専門職としての看護　(小玉)
第 14 回　　医療の安全　(小玉)
第 15 回　　グローバル社会と看護、まとめ　(小玉)

【授業実施方法】
・基本的には講義形式で行うので主体的には授業に参加すること。
・第4回目終了後、フロレンス・ナイチンゲールについてのレポートを提出してもらう。
・第5回目と6回目には看護理論家についてグループで調べ、第7回目で発表してもらう。

【事前・事後学習】
講義内容に関する事前学習を毎回2時間以上行うこと。講義内容を踏まえて復習も毎回2時間以上行うこと。

【主な関連する科目】
教養科目、総合科目、看護過程論、看護倫理、成人看護学概論等、看護学領域全体

【教科書等】
新体系看護学全書 基礎看護学① 看護学概論　メヂカルフレンド社
フロレンス・ナイチンゲール 看護覚え書ー看護であること看護でないことー（改訳第8版：湯槙ます他訳，現代社）

【参考文献】
看護学概論 看護追及へのアプローチ　医歯薬出版株式会社
看護学原論，看護の本質的理解と創造性を育むために　南江堂
基礎看護学①看護学概論　志自岐康子他編集　MC メディカ出版
看護理論やフロレンス・ナイチンゲールに関する書籍

【成績評価方法】
筆記試験 90%、レポート課題・授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】
特定機能病院で、看護師・認定看護師および管理者として多数の診療科で患者や家族への対応を経験してきた。また、院内を横断的に活動し、ケアの基本のみならず管理の視点からも経験を重ねてきた。長年の実務経験を活かし、看護学の本質、すなわち「看護とは何か」、看護学の根底に共通する内容の知見とともに学問的に考えていく。

【学生へのメッセージ】
看護学概論は看護学を学ぶうえでの基盤となる科目です。難解な専門用語もありますが、看護の初学者である皆さんがより理解を深められるよう臨床現場での具体例を取り入れて授業を行う予定です。しかし、皆さんも予習・復習に努め、自分なりの看護観を模索しながら主体的な姿勢で受講してください。